

政治資金でキャバクラ

野村参院議員団体 飲食代計37万円

自民党の野村哲郎参院議員（鹿児島選挙区）の二つの政治団体が、女性が接客するキャバクラやラウンジなどの飲食代6回分、計約37万2千円を政治活動費として計上していたことが、2010年分の政治資金収支報告書で分かった。

野村氏が代表を務める自民党鹿児島県参議院選挙区第5支部の報告書によると、同年4月16日、鹿児島市天文館のクラブに5万6千円、同19日には天文館のラウンジに22万5610円を支出した。

野村哲郎後援会「彩輝会」は同年2月16日、天文館のクラブに2万2500円▽同3月18日、天文館のラウンジに2万3000円▽翌19日、宮崎市の繁華街のスナックに2万7500円、キャバクラに2

万1千円―をそれぞれ支払った。報告書の項目は「政治資金パーティー開催事業費」や「組織活動費」となっている。同事務所は「野村氏の選挙がない年は接待などの費用は計上していない」と話した。

九電幹部からの献金を返す意向

鹿県議・田中氏

薩摩川内市区選出の田中良二県議(55)は自民党は30日、九州電力川内原子力発電所の幹部から2007～09年に後援会が受けた献金について、返金する考えを明らかにした。10年も献金があり、合わせて返すという。献金は毎年2万4千円ずつ受け、計9万6千円。九電は10月、「やらせメール」問題第三

者委員会の最終報告書を受け、原発立地自治体首長のパーティー券購入や、役員個人献金をやめる方針を打ち出している。

田中県議は川内原発の安全対策を審議する原子力安全対策等特別委員会委員。「法的問題は無いが、九電の方針も踏まえ、誤解を招かないようさかのぼって返金する」と話した。